

市政ニュース

北但大震災90年メモリアル事業 市民総参加訓練・震災総合防災訓練を実施

8月30日、本市に甚大な被害をもたらした北但大震災を「決して忘れず、生かし、備える」ため、市民総参加訓練と震災総合防災訓練を実施しました。

訓練は、震度6強の大地震が発生し、多数の家屋が倒壊し火災も発生。沿岸部では津波の恐れもあるという被害状況を想定しました。

本市で初めて行った市民総参加訓練では、市内の7割以上の区が参加。防災行政無線放送を合図に市民約3万1千人が、各家庭で低い姿勢をとり、机の下や腕で頭を守り、1分間は動かない「安全確保

〈市民総参加訓練の区参加率〉

地域	行政区	参加区	参加率
豊岡	121区	96区	79.3%
城崎	31区	24区	77.4%
竹野	43区	36区	83.7%
日高	70区	56区	80.0%
出石	51区	32区	62.7%
但東	42区	30区	71.4%
計	358区	274区	76.5%



▲南但消防本部、美方広域消防本部、本市消防本部との合同による高所救出訓練

行動』をとりました。さらに、沿岸部の区では津波避難訓練、その他の区は、隣保単位で集まれる安全な場所への避難訓練や安全確認訓練を行いました。

港中学校で行った震災総合防災訓練では、市のほか国や県、各種団体など25団体、約500人が参加。消火訓練、倒壊した家屋からの負傷者の救出、炊き出しなど30以上の訓練を実施しました。

自然の力は圧倒的に大きく、私たちの力は小さいものです。震災時は団結しなければなりません。今回の訓練は、その一歩となりました。

韓国で初放鳥「国境を越えたつながり」 コウノトリ放鳥式典等に参加

9月3日、韓国禮山郡で行われたコウノトリ放鳥式典と、その前日に開催された「朝鮮半島コウノトリ保全のため国際フォーラム」に中貝市長が参加しました。

野生復帰を目指して放鳥されたコウノトリは、豊岡の子孫2羽を含む8羽。韓国でも本市と同じくコウノトリと共



▲国際フォーラムで市長が講演

「ゴンベエさんから、400年前のメッセージ」 仙石秀久(通称権兵衛)の新史料発見

戦国時代の武将で、出石藩仙石家の藩祖、仙石秀久・通称権兵衛(1551～1614年)の新史料が、出石町の旧家で発見されました。

これまでの秀久の人物像は、これまでの秀久の人物像は、圧政により領民を苦しめ、領民の抵抗に対しては強圧的で、逃亡した農民の人返しなどの農村復興政策は、次代の忠政が始めたとされてきました。

今回発見された慶長15(1610)年と同16年の2通の黒印状では、農民の帰還や年貢の猶予、また肝煎(村役



▲慶長15年10月19日、仙石秀久が年貢の一部を猶予するよう命じた黒印状

人)に給与を与えることを代官たちに命じるなど、農村復興策や有力農民の取り込みを図ろうとする新たな秀久像が記されていました。

〈主な市政の動き〉

【8月】

- 17日・経営方針会議
- 19日・豊岡稽古堂塾
- 20日・中学校生徒会リーダー研修会
- 24日・コミュニケーション教育推進事業教職員研修会
- 25日・学校整備審議会
- 27日・地域公共交通会議
- 28日・市議会定例会開会(9月29日)

【9月】

- 2日・コウノトリ放鳥式典および国際フォーラムに参加(韓国)(3日)
- 6日・「神鍋温泉ゆとろぎ」入館者10万人達成記念
- 30日・市民総参加訓練および震災総合防災訓練
- 31日・「永楽館歌舞伎公演」製作懇親会(大阪市)市公営企業審議会

観光客は2年連続増加、外国人宿泊者は倍増

観光客と外国人宿泊者の実態調査を実施

昨年、本市を訪れた観光客と、今年の上半期(1～6月)に本市に宿泊した外国人数を、観光協会や旅館組合の協力を得て調査しました。

平成26年の本市全体の観光客数は、447万9千人。平成25年より16万3千人多く、2年連続の増加となりました。

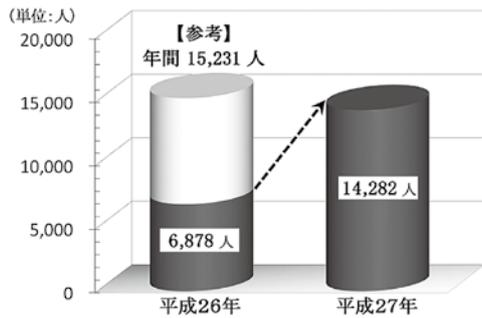
外国人宿泊者数は、平成27年の上半期が1万4282人。平成26年の同期の2・1倍に増加しました。

外国人宿泊者うちの9割

以上が宿泊した城崎地域では、国(地域)別の宿泊者数も調査。最も多かったのは中国(2587人)で、前年同期比で5・2倍に伸びました(以下、宿泊者の多い順。台湾(1696人)、香港(1300人)、オーストラリア(870人)、米国(845人)、タイ(823人)、韓国(808人)ほか)。

本市が、誘客のターゲットとしている欧州では、フランスが前年同期比2・7

倍(765人)、英国が2倍(529人)に伸びています。



▲上半期(1～6月)の外国人宿泊者数の比較

国登録有形文化財答申

城崎温泉街の大谿川に架かる橋梁など13件

国の文化審議会は、城崎温泉街の橋梁群や旅館など、13件を国登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣に答申しました。

答申された文化財のうち橋梁群(大谿川に架かる王橋・愛宕橋・柳湯橋・桃島橋・辨天橋)は、本市に大きな被害をもたらした北但大震災後の復興事業の一環として、い

ずれも昭和初期に鉄筋コンクリート造で建設されました。橋の親柱に灯籠を飾るなど、温泉街の柳並木と調和し、湯治場らしい雰囲気や景観をつくりだしていることが評価されました。

今後、官報告示をもって、正式に登録有形文化財(文化財建造物)として登録されます。



名称	件数
城崎温泉街の橋梁群	5件
旧城崎郵便局	1件
小林屋旅館	1件
西村屋本館	3件
新かめや本館	1件
温泉寺薬師堂	1件
極楽寺本堂	1件

中貝市長の徒然日記

コウノトリ、韓国の空へ

箱の扉が開き最初の1羽が飛び出すと、人々のどよめきが上がりました。韓国の空にコウノトリが復活しました。

9月3日、禮山郡で8羽のコウノトリが放されました。そのうち2羽は、豊岡のコウノトリの郷公園から贈られた鳥の二世です。

韓国の野生最後の1羽が捕獲され、野外で姿を消したのが1983年。以来、豊岡と同様、韓国教員大学を中心に、再生への様々な努力が積み重ねられてきました。

セレモニーが終わり、いざ放鳥場所へと移動を始めたとき「トヨオカ、ナカガイ」という放送が聞こえました。通訳のキム・ファンさんに「何?」「中貝市長にも放鳥してもらおうと言っています!」「何も聞いていないよ!」

1羽目。低空飛行をした後、目の前の湿地にぼちゃん而降りました。2羽目もぼちゃん。ぼくは3羽目。韓国文化財庁長官と一緒に。さすがです。

ダンゴンと舞い上がり、旋回しました。「なんてったって放鳥は2回目。ぼくは世界最多のベテランですから!」

禮山郡のコウノトリ公園は、豊岡の郷公園をお手本に造られています。ゲストハウスには豊岡に関する展示が至る所にありました。放鳥の写真、コウノトリ育む農法の作付面積の推移、価格の推移、中干し延期、水田魚道。東アジアの地図には「豊岡、2005年世界で初めて再導入」と書かれています。韓国の人々の豊岡への敬意を強く感じました。

昨年、韓国慶尚南道に渡った出生生まれの鳥の軌跡も展示されていました。「NAGATO(長門)」経由であることが示されています。安倍総理大臣の地元です。そのことを韓国の関係者は知っています。メッセージなのかもしれません。

午前中のバスで郡のガイド役の言葉。「昨日の国際シンポで豊岡市長がとても感じいいと評判になっています!」やっただぜ!」バスの中でガッツポーズをしたのでありました。